

川だより～芦田川～

ニュースレター
第10号
(H20.8.18)

今年度も引き続き、「芦田川水系河川整備計画」の策定に向けた取り組みをご紹介します。

第5回 芦田川の今後を考える学識懇談会を開催します。

開催案内

「芦田川の今後を考える学識懇談会」は、芦田川に関わりが深く専門的知識を有する学識経験者の方々から意見を聞き、河川整備計画に反映することを目的として、平成17年1月28日に立ち上げられました。

今回、第5回芦田川の今後を考える学識懇談会を下記のとおり開催することとしましたのでご案内します。

本懇談会は、原則公開で行うこととしておりますので、一般の方々の傍聴もできます。

記

日時：平成20年9月2日（火） 13:30～15:30

場所：ウェルサンピア福山 1階 けやきホール（一般傍聴席定員：50名）

会議内容

芦田川水系河川整備計画（案）の提示

会議当日は、「芦田川水系河川整備計画（案）」（以下、計画（案））をご提示します。

この計画（案）とは、平成20年2月29日に公表しました「芦田川水系河川整備計画素案」について、本懇談会委員の方々や地域住民のみなさんからいただいたご意見を参考に作成したものとなっています。

会場位置図



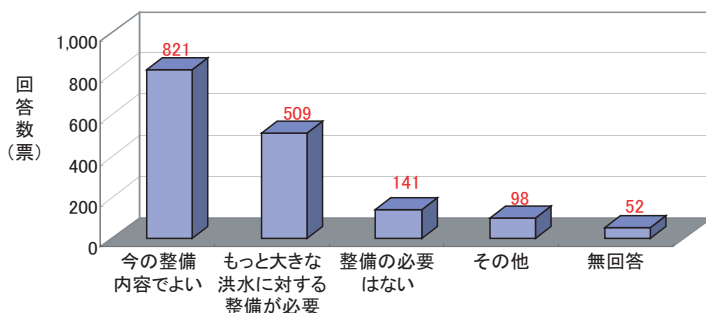
今後の整備についてのアンケート結果

「芦田川水系河川整備計画素案」（以下、素案）の公表後、地域住民のみなさんを対象にアンケート調査を実施しました。この結果、アンケートの回答数は1,621通となりました。たくさんのご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。結果の概要は、以下のとおりです。

洪水対策について

約50%の方が、素案の整備内容に『賛成』と回答。

また、約30%の方が『もっと大きな洪水に対しての整備が必要』と回答していることから、今後も計画的な洪水対策が必要と考えられます。

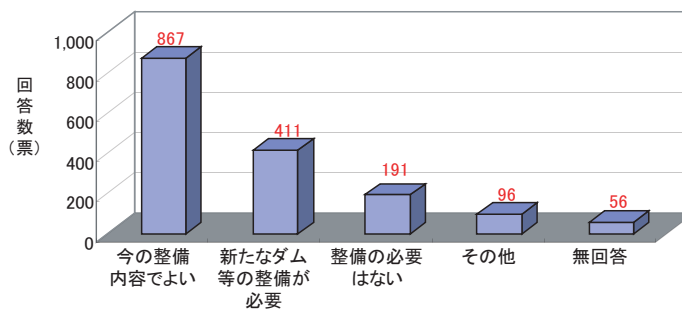


今後の整備についてのアンケート結果

水利用に関する整備内容について

約50%の方が、素案の整備内容に『賛成』と回答。また、約25%の方が『新たな水を貯める施設の整備が必要』と回答していることから、湧水に対して多くの方が懸念されていることがわかります。

整備計画では新たな水源施設は計画されていませんが、今後も八田原ダム等の既存施設の適切な運用による水の補給および適正な水利使用の維持・適正化の促進を図ります。

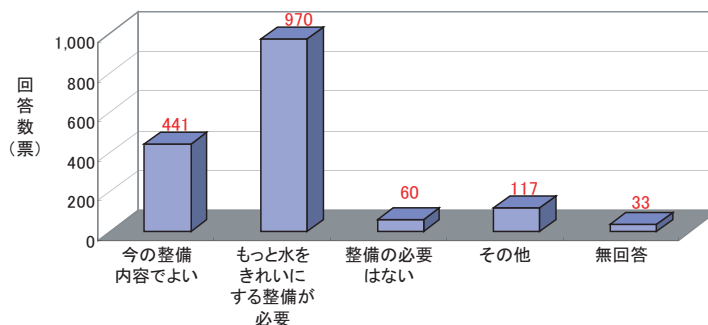


水質保全対策について

約25%の方が、素案の整備内容に『賛成』と回答。また、約60%の方が『もっと水をきれいにする整備が必要』と回答していることから、芦田川の水質に対する関心の高さがよくわかります。

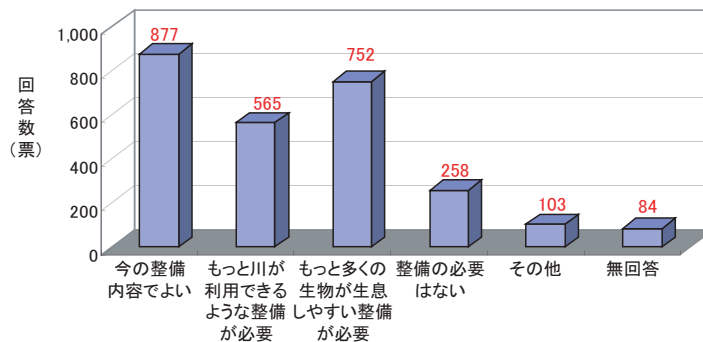
水質改善は河川事業だけでなく、下水道事業と住民自らが実施する流域対策が連携・協力する必要があります。

今後も流域住民、下水道事業者、河川管理者が一体となり、水質改善に取り組む必要があります。



河川環境（自然環境の保全、河川空間の利用）について

約35%の方が、素案の整備内容に『賛成』すると回答。また、約30%の方が『もっと多くの生物が生息しやすい整備が必要』、約20%の方が『もっと川を利用できるような整備が必要』と回答していることから、河川本来の自然環境が保全され、多くの人々が自由に、安心して、快適に利用できる河川空間の整備・保全が必要であると考えられます。



発行者・問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局
福山河川国道事務所
調査設計第一課

〒720-0031 福山市三吉町 4-4-13
TEL 084-923-2620 / FAX 084-923-2557
E-mail fukuyama@cgr.mlit.go.jp